

クロアチア情勢(2020年1月)

在クロアチア日本国大使館

1. クロノロジー

【内政】

2-3日	第7回クロアチア大統領選挙決選投票に向けたTV討論が国営テレビ(2日)及び民放NOVA TV(3日)で行われた。
5日	第7回クロアチア大統領選挙決選投票が実施され、現職のグラバル＝キタロビッチ大統領を破り、野党が推すミラノビッチ候補(元首相)が当選。ミラノビッチ氏は、2月18日に大統領に就任予定。
9日	クロアチア政府は、11月に解任されたコステリッチ・スポーツ庁長官の後任として、ドルザック氏(国防省副大臣や内務省副大臣等を歴任)をスポーツ庁長官に任命。
14日	クロアチア政府は、空軍の戦闘機調達のため、米国、スウェーデン、イスラエル、ギリシャ、ノルウェー、伊及び仏の7か国を調達交渉先として選定。
17日	最大野党の社会民主党(SDP)等が12月に議会に提出していたディビャク科学・教育相に対する不信任案の採決が行われ、賛成55票、反対77票、棄権1票により否決された。
20日	セツサ国家選挙委員会(DIP)委員長(兼最高裁長官)は、ミラノビッチ次期大統領へ大統領選挙の最終結果に関する報告書を提出。
22日	ポジェガ・スラボニア県のトマシェビッチ知事は、妻に対する家庭内暴力に関し、同県の地方裁判所より執行猶予2年禁固10か月の判決を受けた。(注:同知事は、右家庭内暴力をメディアに報じられ、その後、知事の職を辞さなかったため、HDZから除名処分を受け、2017年後半に地方検察庁から起訴されていた。)
24日	ヤンドロコビッチ議会議長(HDZ事務局長)は、次期HDZの党首、筆頭副党首及び4名の副党首を選出する党内選挙を3月15日に行う旨発表。地方支部の長を選定する党内選挙は4月5日及び19日に実施される。
25日	3月15日に行われるHDZ党内選挙に向け、コバチ議会外交委員会委員長(元外相)、ペナバ・ブコバル市長及びシュティール議員(元外相)は、(プレンコビッチ首相に対抗するチームとして)それぞれ党首、筆頭副党首及び副党首候補として出馬する旨を表明。
27-28日	27日、乗組員2名のクロアチア空軍のヘリコプターがシベニク市で墜落し、乗組員1名が死亡、もう1名が行方不明となった。翌28日、行方不明であった乗組員が遺体となって発見された。
28日	プレンコビッチ首相は、クンジッチ保健相を解任。31日に後任としてペロシュ保

	健省次官補が新保健相に就任。
29日	大統領選挙に出馬し12月の第一回投票で得票数第3位であったミロ斯拉ブ・シュコロ氏(元議員, 歌手)は, 自身の名前を冠した政党を立ち上げ, 大統領選挙において自身を支持した政党と連盟を組む旨発表。
30日	クロアチア政府は, 2021年4月1日から同年5月7日にかけて実施する国勢調査の案を議会に提出。同案が可決されれば, 国家統計局と地方自治体が協力し実施される。

【外交】

6日	ソレイマニ・イラン革命防衛隊コッツ部隊司令官の死亡等を受けた中東情勢に鑑み, クロアチア国防省は, イラクに駐留するクロアチア軍兵士をクウェートに移動させた。
7日	プレンコビッチ首相は仏を訪問し, マクロン仏大統領と会談。
9日	ミシェル欧州理事会議長は, 本年前半のEU理事会議長国である当国を訪問し, プレンコビッチ首相及びヤンドロコビッチ議会議長と会談。
9-10日	フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長率いるコレージュ(College of Commissioners)は, クロアチアのEU議長国就任に当たって当国を訪問し, クロアチア政府と会合を行った。
10日	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相は, リビア, イラン・イラク情勢に関するEU外務理事会の特別会合に出席。
13-14日	13日, プレンコビッチ首相は, 仏のストラスブールを訪問し, ペイチノビッチ＝ブリッチ欧州評議会事務局長(前クロアチア外相)と会談。14日, プレンコビッチ首相は, クロアチアのEU議長国就任に際し, 欧州議会に出席し, 議長国クロアチアのスローガン, 優先事項等を発表する演説を行った。
16日	プレンコビッチ首相は独を訪問し, メルケル独首相と会談。
17日	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相は仏を訪問し, グリアOECD事務総長と会談。
	エツシュタットラー・オーストリア首相府相(EU担当)が, 当国を訪問し, プレンコビッチ首相と会談。
20日	ザグレブで欧州の各国議会のEU問題委員会の会合であるCOSAC会合(the Conference of Parliamentary Committees for Union Affairs of Parliaments of the European Union)が開催され, ヤンドロコビッチ議会議長及びプレンコビッチ首相等が出席。
21-22日	グラバル＝キタロビッチ大統領及びプレンコビッチ首相は, ダボスで行われた世界経済フォーラムに出席。プレンコビッチ首相は, 同地訪問中, シャレツ・スロベ

	ニア首相, サチ・コソボ大統領等と会談。
23-24日	ザグレブにおいて, 23日非公式EU司法大臣会合, また, 24日に非公式EU内務大臣会合が開催された。
24日	ストレイヤー米国国務次官補代理が当国を訪問し, クロアチア政府及び民間企業に対し, 5Gネットワークのプロバイダー選定に際する注意喚起を行った。
27日	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相が, トルコ東部エラズー県の地震に対し哀悼の意を示す書簡をチャヴシュオール・トルコ外務相へ送付。
	オーヴァートフェルト欧州議会予算委員会委員長等が当国を訪問し, プレンコビッチ首相, マリッチ副首相兼財務相及びグルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相と会談。
	ボジノビッチ副首相兼内務相がブリュッセルで行われた欧州議会市民の自由・司法・内務委員会に出席。
28日	ブリュッセルにおいて, 「欧州の将来に関する会議」を議題とするEU総務理事会が行われ, メテルコ＝ズゴンビッチ外務・欧州問題省副大臣が議長を務めた。
	ブリュッセルにおいてサツソーリ欧州議会議長の主催により, 西バルカン6か国の議会議長が集まる会合が行われ, クロアチアからヤンドロコビッチ議会議長が参加。
	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相は, ブリュッセルで行われた欧州グリーン・ニュー・ディールの履行に関する会合に参加。
29日	デンディアス・ギリシャ外相が当国を訪問し, グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相と会談。
	ソーライデ・ノルウェー外相が当国を訪問し, グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相及びヤンドロコビッチ議会議長と会談。
31日	欧州司法裁判所(ECJ)は, クロアチア・スロベニア間の国境・海洋境界画定事件(スロベニアがクロアチアを相手取ってECJに提訴していた事案)につき, ECJが管轄権を有しない旨の判決を下した。

【経済】

1日	第4次税制改革に係る措置として, 非課税所得の基準の引上げ(月額3800クーナ以下から4000クーナ以下へ), 25歳以下の市民に対する所得税の100%引下げ, 26歳以上30歳以下の市民に対する所得税の50%引下げ等を導入。
8日	世銀は経済見通しを公表。クロアチアの2019年の経済成長率は2.9%, 2020年は2.6%との予測。
	クロアチア経済・中小企業省は, 投資促進法改正案に関するパブリック・コンサルテーションを開始。同法案は, 製造工程における自動化, ロボット化, デジタル化

	等, ビジネスの近代化に取り組む企業に対して補助金を付与するもの。
9日	民間リサーチ会社 Promocija Plus は2019年の新車販売台数を公表。同年の販売台数は62, 938台と前年比4. 8%増。
13日	クロアチア環境保護・エネルギー省, クロアチア水道管理公社, スプリット上下水道管理会社は, スプリット市及びソリン市の上下水道インフラ改修事業(総事業費18億クーナ)に係る契約に署名。うち9. 75億クーナはEUによる支援。2023年末までに完成予定。
16日	政府は, 経営再建中の機械・金属加工大手ジューロ・ジャコビッチ・グループに対する3億クーナの融資について, 政府保証を付与することを閣議決定。
23日	政府は, 欧州委員会の5G行動計画に基づく国内最初の5G都市として, オシエク市を選定することを決定。2020年末までに同市に5Gネットワークを整備し, 5Gサービスの商業利用を立ち上げる予定。
	JASPERS(the Joint Assistance to Support Projects in European Regions)は, クロアチア鉄道旅客サービス公社(HZPP)による鉄道車両の購入計画(総額12. 9億クーナ)に対するEUの支援を承認。同社は2020年に21台の新車両を調達。85%をEU基金, 15%を政府が支出する予定。
	ジューロ・ジャコビッチ・グループは, クロアチア郵便銀行との1. 5億クーナのローン契約に署名。
	EU統計局(Eurostat)は, 加盟国における2018年の再生エネルギー消費動向を公表。同年のクロアチアの最終エネルギー消費支出に占める再生エネルギーの割合は28%となり, 前年比0. 7%ポイントの上昇。
27日	スプリット=ダルマチア県とクロアチア水道管理公社は, クロアチア南部イモツキ町(Imotski)及びプロロジャツ町(Prolozac)における上下水道インフラ整備事業(総額2. 88億クーナ)の契約に署名。事業費の7割をEU基金でカバーする予定。